

活用ナビ

①【ねらい】武士の暮らしを想像図から読み取る。(学びのてびき)。

② ● 何の想像図でしょうか。

● 図から見つけましょう。

※「学びのてびき」にある「どんな人がいるだろう」「何をしているのだろう」「建物や周りの様子はどうか」の3つがポイントということ伝える。

※読み取りから考えられることも書き加えさせたい。

※発表の際には、発表内容が拡大投影した図のどこの部分あるか確認をし、情報の共有化を図る。

③ ● 今度は図を比べましょう。貴族の屋敷との違いはどこでしょうか。

※P100の貴族の屋敷と比較させる。

※「何のためにそういう造りになっているのか」と問い、読み取りを深める。

④ ● 武士の暮らしは、どのような特徴があるのでしょうか。

※戦いの備えを日々していたこと、自給自足の生活だったことをおさえる。

⑤ ※本時の学習内容をもとに、単元の学習問題について話し合い、意欲をもたせたい。

6年-7

2-3 武士の政治が始まる  
武士が現れる

P106～P107

名前

6年 組 番

①【ねらい】武士の暮らしを想像図から読み取る。(学びのてびき)

②【ポイント】図⑦から見つけよう。

・どんな人がいるだろう。・何をしているのだろう。・建物や周りの様子はどうか。

- ・門で見張りや番をしている人がいる。
- ・戦いに備えてけいこをしている。弓の練習をしている人もいる。
- ・弓の手入れをしている人がいる。
- ・武士が屋しきの中で話し合いをしている。戦いの相談かもしれない。
- ・弓の手入れをしている。戦いのときに使う馬だと思ふ。

- ・武士の家族が野菜を育てている。
- ・田植えをしている人がいる。
- ・建物のまわりはさくで囲まれている。堀もある。
- ・へいや堀は、攻められてきたときに敵から屋しきを守るためだと思ふ。
- ・屋しきの中はごうかな感じはしない。馬小屋もありそうだ。

③【ポイント】図を比べよう。

・P100の⑦貴族の屋しきとのちがいはどこだろう。それは何のためだろうか。

- ・貴族の屋しきは広いが、武士の屋しきは広くない。
- ・貴族の屋しきにある広い庭は、武士の屋しきにはない。遊ぶことがないからだと思ふ。
- ・貴族の屋しきには堀もない。
- ・武士の屋しきは戦いに備えるためのものになっている。

④【ポイント】図から考えよう。

① 武士の暮らしには、どのような特徴があるだろう。

- ・武士は暮らしの中で領地を守るための準備をしていた。
- ・馬をかい、日々武芸に励んでいた。
- ・建物や周りも戦いに備えるためのつくりになっている。
- ・武士は田畑で米や野菜を育てていた。

⑤ 次の時間からの学習問題をノートに書こう。

## 資料の読解

この想像図には、武士の暮らしの様子がわかりやすく描かれている。ふだんは農業で自給自足の生活をし、領地を守るために戦いの準備を常に行っている様子が表現されている。特に、武芸に励む様子や馬を大事にしている様子に、子どもたちは興味を示すであろう。また、建物も特徴があり、質素な生活ぶりが反映されている。優雅な暮らしぶりだった貴族の屋敷と比較すると、その違いは大きい。これらの観点で子どもたちに読解をさせたい。

## 読解の方法

- (1) 教科書の107ページに「学びのてびき」があり、「見つけよう」「比べよう」「考えよう」の視点が示されている。これに基づいて、読み取りをさせる。  
まずは、どんな人が何をしているのか、じっくりと図から読み取らせたい。武芸のけいこ、馬のお世話、田植えというようにすぐにわかる様子に子どもたちは注目するであろう。すぐにはわからない部分については、「～なのではないか」と予想を記入させたい。また、建物やその周囲についても気づいたことを読み取らせる。これは(2)につながる。
- (2) 貴族の屋敷との比較では、建物や周りの様子の違いに注目させる。広い建物、豪華な庭や池が貴族の屋敷の特徴であることを理解する。それに対して武士の館には質素な生活ぶりが反映されている。それは、それぞれの時代の貴族と武士の暮らし方の違いであることを理解させたい。
- (3) (1)と(2)の内容を踏まえたうえで、武士の暮らしの特徴を子どもたちに考えさせる。戦いの備えを日々していたこと、自給自足の生活だったことを、教科書の本文と関連づけながらおさえたい。